

公表日 令和3年3月15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点等	改善内容や改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			・作業療法士等の専門職員の確保に努める。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○		・施設改修に伴い一部改善	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・職員の意見を聴取し業務改善に生かす。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・保護者による事業所評価を実施し、課題を職員で共有し、業務改善に反映させる。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		・評価表の事業所内掲示及び会報により公表している。	・現在、ホームページが休止状況のため、今後ホームページにも掲載予定。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	・今年度、外部評価が実施できていない。	・今後の課題として検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		・所内研修を計画的に実施 ・視察研修等を計画的に実施 ・県発達支援センターと連携し指導・助言を受けている。	・県発達支援センターと連携強化を図る。 ・Web研修に対応できる環境整備を進める。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・子どもと保護者のニーズや課題と事業所でのアセスメントをすり合わせ支援計画を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・今後、さらに県発達支援センターの助言を頂く。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		・職員で確認し合い内容を検討している。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		・1週間毎にプログラムを変更している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		・アセスメントを行い一人一人に合った個別と集団活動を組み合わせ作成するようにしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		・職員朝会にて打ち合わせを実施している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		・その日の支援を振り返り、気付き等の情報交換等は可能な範囲で実施している。	・気になる点に関しては、支援の振り返りや方向性を検討し共通認識のもと支援にあたる。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		・記録を職員で共有し支援にあたっている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		・半年に1回のモニタリングを確実に実施し、それ以外でも状況が変われば必要に応じて見直している。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○		・ガイドラインを基に複数組み合わせ実施している。		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		・児童発達支援管理責任者が参加している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		・行事予定表、年間計画を頂き、連絡調整を行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○		・現在は、対象児童の在籍は無い。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点等	改善内容や改善目標
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		・広島県発達支援センターと定期的に連携し、指導・助言を受けている。 ・他の事業所とも情報交換を実施している。	・広島県発達支援センターとの連携をより一層推進する。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○		・管理者または児童発達支援管理責任者等が参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		・面談や利用時の連絡ノートで伝えている。	・更に保護者と面談できる場を増やしていく。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		・契約時に契約書及び重要事項説明書で説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		・子育ての悩みはもちろん、保護者自身の悩み等の相談を受け保護者をサポートするようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		保護者会は活動されていない	・保護者同士が話し合える場を設けるようにする。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		・契約時に契約書及び重要事項説明書で説明し、事案が生じた場合は迅速に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・ホームページの刷新を図る。
	35	個人情報に十分注意しているか	○			
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			
非常時等の対応	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○	・今年度は、法人のみつば祭りが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止になった。	・次年度に向けて地域住民等とのふれあいの機会を検討中である。
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		・新たにマニュアルを作成した。 ・定期的に避難訓練を実施している。	・保護者へ会報等を活用し周知する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		・避難訓練(火災・地震・不審者対応)を計画的に実施している。	・保護者へ会報等を活用し周知する。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		・所内での研修を実施している。 ・人権擁護、虐待防止について研修に参加している。	・計画的な所内研修を実施する。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		・契約時に契約書及び重要事項説明書で説明している。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		・医療機関と連携し、指示書を頂いている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	・ヒヤリハット事例集が作成されていない。	・早急にヒヤリハット事例集を作成する。